

\* \* \*

## 学 会 記 事

\* \* \*

§ 平成 20 年第 1 回日本核医学会理事会  
議事録

日 時：平成 20 年 1 月 22 日 (火)

12 時 00 分～16 時 00 分

場 所：日本アイソトープ協会 第 3 会議室

出席者：

理事長：遠藤啓吾

監 事：久保敦司，小泉 潔

理 事：玉木良長，中條政敬，小須田茂，  
米倉義晴，日下部きよ子，松田博史，  
福田 寛，望月輝一，桑原康雄，  
伊藤健吾，中村佳代子，畑澤 順，  
菅野 巖，荒野 泰，汲田伸一郎，  
絹谷清剛，山崎純一

幹 事：織内 昇 (書記)

次期会長：油野民雄

事務局：神田正子 (事務局長)

欠席者：

理 事：竹田 寛

## 議題

## I. 審議事項

1. 賛助会員について (中條政敬理事)  
賛助会費の収入増を図ることについて提案  
があり，了承された。
2. 定款細則に改正について (小須田茂理事)  
評議員の選挙制度，理事の選出法などにつ  
いて，改正案が提案され，さらに継続して審議  
することになった。

## II. 報告事項

1. 第 48 回学術総会状況報告 (米倉義晴会長)  
10 月 24 (金)～26 (日) の 3 日間，幕張メッセ

で開催する。理事会，分科会を初日(金)に，一  
般口演は土日の 2 日間で行い，最終日は 17 時  
に終了する予定との報告があった。

2. 第 49 回学術総会準備状況報告  
(油野民雄次期会長)

平成 21 年 10 月 1 (木)～3 (土) の 3 日間，旭  
川グランドホテルおよび隣接する市民文化会館  
で開催する。

3. 第 8 回春季大会準備状況報告  
(日下部きよ子大会長)

5 月 9 (金)～11 (日) の 3 日間，タワーホール  
船堀で開催。核医学基礎セミナー，専門医教育  
セミナー，PET 研修セミナーの 3 つとし，2 日  
間の初心者コースと 1 日間の看護師コース，薬  
剤師コースを基礎セミナーの中に設ける。参加  
費は業者 ¥25,000，医師・技師 ¥18,000，薬剤  
師・看護師 ¥10,000 とし，全体で 900 人の参加  
を想定し開催する。

4. 会計報告 (中條政敬理事)  
会計収支について報告があり了承された。
5. 委員会報告

- 1) 編集委員会 (松田博史理事)  
case report は原則不可とする，投稿され  
た論文は Editor の判断で reject してよい。  
投稿数が 10 編/月位まで増加しており，  
年間のページ数 900 の制限では採択率が  
50% 程度となる。査読者を充実させる方策  
として，総会の座長のほか，評議員も専門  
分野を登録することとした。
- 2) 教育・専門医審査委員会  
(福田 寛理事)

PET 撮像ガイドラインを作成している。  
第 5 回専門医試験 (6/22) 問題を作成中であ  
る。

- 3) PET 核医学委員会 (伊藤健吾理事)  
院内製造 FDG ガイドラインの改訂を予定している。ポジトロン機能付カメラ(コインシデンスカメラ)に関して、学会としてどのように取り扱うか検討中である。
- 4) 健保委員会 (日下部, 山崎理事)  
日下部理事より, 4月改定に向けての状況が説明された。また山崎理事から, DPC群の心臓・脳 SPECT が大きく減少した件について, 処置2 となって請求可能なことを知らない施設が多いとの指摘(資料参照)を受け, 総会で「教育講演」として, 心臓(山崎理事)と脳(中川原讓二氏)に関して講演していただくことが提案された。
- 5) 広報委員会 (中村佳代子理事)  
HP の充実案について提案があった。
- 6) 公益法人化対応委員会 (遠藤啓吾理事長)  
他の医学会の動向を見ながら進める。
- 7) リスクマネジメント委員会 (畑澤 順理事)  
大阪府内で炎検知器により RI が検知された事例が1-2回/年, 報告され, 大阪府のHP にも掲載されている。さらに増加傾向にあり, 対応を検討していく。
- 8) 放射線防護委員会 (米倉義晴理事)  
核医学検査を受けただけでも, 上記のような検知器にかかる事例のあることから, HP からダウンロードできる説明書の雛形を作る。「会員へのお知らせ」とし, 患者も閲覧可能とする。核医学診断, 核医学治療について, 日本語・英語を表裏に記載したものを広報に提示する。OECD の会議に中村理事, 細野眞氏, 大野和子氏が出席した。IAEA について, 今後も情報収集していく。
- 9) 学会賞選考委員会 (菅野 巖理事)  
研究奨励賞3名について分野が重ならないことが望ましく, 今後賞への応募を増やすために評議員に推薦依頼はがきを出すとともに, 学会 HP でも宣伝する。
- 10) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (荒野泰理事)  
作成した診断用放射性医薬品の臨床評価ガイドライン(案)の改訂版に対する厚生労働省のコメントを求めている。またマイクロドーズ臨床試験に関しては, 学会からパブリックコメントを出す。その原案を荒野理事, 井上登美夫氏が作成し, 理事長名義で厚生労働省に提出する。
- 11) 将来計画委員会 (汲田伸一郎理事)  
若手の会員を増やすために広報ならびに教育・専門医審査委員会とリンクして活動していく。他科とのリンクも重要である。
6. 分科会活動
- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (絹谷清剛理事)  
MIBG 内用療法ガイドラインが完成し, 学会誌(2月発刊)に掲載される。内分泌学でもガイドラインを作成しており, リンクして作成していく。
- 2) 日本脳神経核医学研究会 (松田博史理事)  
ガイドラインを作成する。
- 3) 日本心臓核医学会 (山崎純一理事)  
6/27(金), 28(土)に竹田理事が会長として津市で心臓核医学会が開催される。玉木理事が委員長となり, 若手医師300名を対象として講習会を開く。
- 4) 呼吸器核医学研究会 (小須田茂理事)  
小須田理事から, 4/12に慈恵医大で第18回呼吸器核医学研究会が開催予定であること。呼吸器核医学診断ガイドラインを作成中であるが, 山口大の松永教授と連絡を取り, 肺血栓塞栓症の画像診断に関する日医放のガイドラインとすり合わせを行い, 内容が異なるように完成させる。
- 5) PET 核医学分科会 (伊藤健吾理事)  
昨年8月の分科会発足後の活動状況が報告された。関連して, 汲田理事から, PET

サマーセミナー 2009 を 2009 年 8 月下旬に西東京市で開催予定と報告された。

7. 国外学会等連携担当理事（中村佳代子理事）

1) 世界核医学会

2) 米国核医学会

日本核医学会が提案した企画「低酸素イメージングについて」が受理され、米国核医学会で発表の予定である。

3) アジアオセアニア核医学会

(ARCCNM 兼務)

アジアオセアニア核医学会が 10 月 31 日

からインドで開催されるが、日本から多くの参加が望まれている。

4) 日韓中核医学会

今年は中国での開催のため、中日韓という名称となる。中日韓、アジアオセアニア、ARCCNM などアジア地域の核医学に対しては玉木理事が対応する。